

お口の 健康情報室

子どもたちの健康な歯を守り、将来の歯のトラブルを防ぐために、小児歯科で「シーラント」と呼ばれる虫歯予防法が注目されています。

シーラントは、奥歯の溝やクレバス（微小な亀裂）を、フッ素を多く含んだ特殊な樹脂などで埋め、食べかすや虫歯を引き起こす細菌の侵入を防ぐ方法です。歯科医が簡単な手順で行うため、子どもた

虫歯予防にシーラント

ちにとっても痛みがなく、処置の時間が短いという利点があります。

奥歯にシーラントを塗布すると、虫歯のリスクが減少するという効果が研究で報告されています。

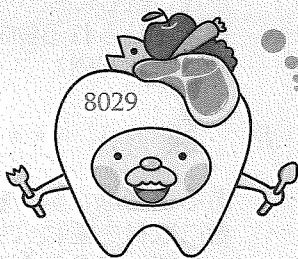
小児歯科では、特に永久歯が生えそろう6歳から12歳の子どもたちにシーラントを施すことが推奨されています。

この年齢の子どもたちは奥歯の表面が溝やクレバスで満ちており、虫歯のリスクが高いため、シーラントが有効なのです。

ただし、シーラントを処置したからといって、歯の

手入れを怠ってはいけません。歯科医の協力のもとで、定期的な歯科検診や適切な歯磨き、健康的な食生活など、歯の健康を守るための習慣を身につけることが大切です。

(千葉県歯科医師会)



「8029 運動」PRキ
ャラクター もぐじい